

# 生活者主権の会・第27回総会 議事録

書記 東京都中野区 西村 敏夫

[日時] 令和5年7月16日(日) 14:00 ~ 15:55

[場所] 渋谷区 笹塚区民会館

開会に先立ち小侯代表より、当会の初代代表として当会の草創期の活動に多大なご尽力を頂きました江頭清昌氏が6月にご逝去されたとの報告があり、同氏のご冥福をお祈りして全員で黙祷を捧げた。

## 1. 開会宣言

小侯代表より、本会は出席者8名、委任状提出者15名、計23名を以て、会則に定める総会要件(会員総数の10分の1以上)を満たしているので総会として成立する旨の報告があり、開会が宣言された。

## 2. 代表挨拶 小侯一郎 代表

当会は平成維新の会からだ31年目に入った、皆さんそれだけ歳をとったことになるわけで、昨年は治田氏、今年は江頭氏を亡くしましたが、私はあと数年代表として頑張る積りでおります、どうぞよろしくお願いします。

但し、その間に新しい代表者が出られればまた新しい方向に進まれるのも良いと思います。

## 3. 議長並びに書記の選出

小侯代表より、議長に小侯一郎代表を、書記に西村敏夫氏を、の提案があり、両名が拍手を以って承認された。

## 4. 議事

### ① 報告事項

#### a. 2022年度活動報告 小侯一郎 代表

小侯代表より2022年度の活動について報告があった。(活動報告書の配布あり・本号P4掲載)

- ・代表選については、新しく立候補者される方が無かったので実施せず、代表選規則に基き小侯代表が継続することになった。
- ・役員は、江頭相談役が亡くなれば相談役が平岡氏のみとなった。
- ・昨年度も「意見交換会」は開催しなかった。今年度は「意見交換会」とは別の形でもいいので、集まることができないか考えている。
- ・その他諸々の活動については「活動報告書」に記載された内容に沿って報告があった。

#### b. 2022年度会計報告 吉井正信 経理担当

吉井正信経理担当より2022年度の会計報告があった。(会計報告書の配布あり・本号P5掲載)

#### c. 2022年度会計監査報告 小侯一郎代表

- ・会計監査人の柳田康雄氏が欠席されたので、その委任を受けて小侯代表より2022年度の会計について7月10日に監査を実施し、適正であると認めた旨の報告があった。

\*以上の報告事項3案について質疑を求めたが質問は無く、本案に対して認否を諮ったところ異議なく、全員の拍手を以て承認された。

### ② 2023年度予算案の審議 小侯一郎代表

2023年度の予算案について説明があった。(予算案書配布あり・本号P5掲載)

本年度も運営費にまだ余裕が見込まれるので、引き続き会費の徴収は行わない旨の補足説明があった。

\*本予算案に対して質疑を求めたところ質問はなく、本案は全員の拍手を以て承認された。

### ③ 委員会の活動報告

- a. 「21世紀のライフスタイルを考える会」 峯木委員長
- ・毎月第2日曜日の昼に三井クラブで開催している。
  - ・参加者の希望によりオンラインでも同時開催している。
  - ・コロナが収まってきたのでこれ迄自粛していた活動も再開し、テーマを幅広く取り上げている。
  - ・最近では毎回、AIの活用について説明し意見交換をしている。
- b. 「道州制実現推進委員会」 小俣委員長
- ・道州制推進連盟定例会を原則2か月に1回開催。
  - ・道州制そのものに世論の関心が薄れているので、余り活発に動いていない。
- c. 「インターネット委員会」 小俣委員長
- ・2か月に1回オンラインで開催している。(原則第2金曜日)
  - ・PC利用についての新しい発見があり、また忘れていたことの再発見もある。

### ④ 意見交換等

- a. LINEの活用とAIの急進的普及が話題となり、実状や将来性など議論百出となった。
- ・人知を超えた能力と急進、利用の効果と発展性、半面偽装や不安など、尽きることのない意見交換がなされた。
  - ・スマホ、FAX無し、固定電話のみで情報難民をしている、との意見もあった。
- b. 石井氏より活動についての提案があった。
- ・国会の課題（マイナンバーカード、入管法、予算など）や現代社会の息吹や問題点を主権の会のテーマとして活動に取り上げたら如何か、豊島、杉並の区議会の変化もある。
  - \*この件に関し小俣代表から、主権の会としては現在、政治的活動を休止している、現状に問題意識を持っているが政治的活動は考えていない、その状況でもない、との返答があった。
- c. 峯木氏より「直接民主制」について話があった。
- ・昨年立ち上げた「実現する党」を「実現するプロジェクト」に改め活動中、HPを立ち上げた。
  - ・AIは人手では出来ないことが出来る、各分野一人一人のつぶやきや意見を集約し、施策に反映出来る。意見の集約・分析から運営全般にAIの活用を研究している。
  - \*ここでもAIについては、新しい可能性などについて活発な意見交換があった。

### 5. 閉会 小俣代表

以上、議論が概ね出尽くしたとして本年度の総会を閉会する旨、宣言された。

以上